

< セミナーのご案内 >

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 280 (通算 610 回)

2014 年 12 月 11 日 (木)

グローバルな“情報発信”と“ブランディング”——

大学 Web サイト国際版——編集力と進化

～企画・構成とコンテンツ／編集・制作の留意点と実際～


- ※ 大学の国際戦略と情報発信・広報の新展開／IR と Web/Meiji.net と JAPAN STUDY SUPPORT
- ※ 欧米の大学 Web サイトのコンテンツと編集力／人の顔が見える／海外からの批判と改善
- ※ 英語国際版の企画・構成・制作の留意点／サイト構築・運営の最適化支援 SCRUM
- ※ [関西学院大] データ分析に基づく戦略広報／ソーシャルメディア活用の実例／多言語化
- ※ [NAIST] 大学ブランディングと広報戦略／「Start With "Why?"」／オンラインプレゼンス

● 講師陣 ●

勝 悦子 氏 / 明治大学 副学長 (国際交流担当) 国際連携機構 副機構長
 船守 美穂 氏 / 東京大学 教育企画室・評価支援室 特任准教授
 長澤 大輔 氏 / (株)Art&Strategy President CEO
 エリック 浩ニ ストー 氏 / (株)Art&Strategy プロデューサー
 新谷 陽介 氏 / (学)関西学院 広報室 課長補佐
 スティーブン 西田 氏 / (国)奈良先端科学技術大学院大学 国際連携推進本部 国際展開マネージャー

企画協力: 協同宣伝 <http://www.kyosen.co.jp/>

2014 年 12 月 11 日 (木) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

 地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時: 2014 年 12 月 11 日 (木) 10:00~16:40

会 場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)
千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
A1 出口より徒歩 3 分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 43,000 円 (消費税込)
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
44,000 円 (送料、消費税込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 280

大学 Web サイト国際版——編集力と進化

2014 年 月 日
 (□に✓印を) 当日参加 メディア参加
 支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
 必要書類 請求書 見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講 義 項 目
10 : 00 } 11 : 00	<p>□ 大学の国際戦略と情報発信・広報の展開 ～「Meiji.net」及び「JAPAN STUDY SUPPORT」を踏まえて～</p> <p style="text-align: right;">明治大学 勝 悦子</p> <p>1. 教育情報の開示と I R (1) 教育情報の開示 (2) 学内体制のあり方 (3) I Rとウェブサイト</p> <p>2. 大学広報とブランディング (1) コーポレートブランドとプロダクトブランド (2) MEIJI.net とは何か (3) 大学ランキングとブランディング</p> <p>3. 大学の国際化と大学広報のあり方 (1) 情報発信基盤としての英語版ホームページ (2) 「Japan Study Support」の試み (3) 留学生、OBを通じた情報発信 (4) ユビキタス情報発信 (質疑応答)</p>
11 : 10 } 12 : 20	<p>□ 欧米の大学 Web サイトのコンテンツと編集力 ～グローバル大学の情報発信・広報から学ぶこと～</p> <p style="text-align: right;">東京大学 船守 美穂</p> <p>0. 大学 Web サイトについての前提条件 (0) 欧米大学の Web サイトであれば優れている、という訳ではない (1) 客観的情報発信 vs. 主観的情報発信 (2) 英語による Web サイトは、海外のオーディエンスを想定して (3) 検索でたどり着ける用語使い</p> <p>1. 人の顔が見える米国の大学 Web サイト (1) 大学ポリシーが見える学長メッセージ (2) 大学のお仕着せフォーマットではない、教員の自己発信 (3) 各事務部署の役割、目標、担当者の明示 (4) ホスピタリティの見える大学ビジターへの情報</p> <p>2. 日本の大学 Web サイトに対する海外からの批判 (1) 何を言いたいのかわからない (2) 更新頻度が低い、情報が少ない (3) コンタクト先が見つからない (4) 大学への交通案内が日本人前提</p> <p>3. 日本の大学 Web サイトの改善は可能か？ (1) 単なる Web サイトにとどまらない、組織の在り方の問題 (2) Web サイトをどのような体制で作るか (3) ウェブ・アナリティクスで好循環を作り出せるか (4) 組織としての発信で、可能な限り魅力的に見せる (質疑応答)</p>
13 : 20 } 14 : 20	<p>□ 大学 Web 英語国際版の企画・制作の留意点と実際 ～サイト構築・運営の最適化支援/アジャイル (SCRUM) 開発手法～</p> <p style="text-align: right;">Art&Strategy 長澤 大輔 Art&Strategy エリック 浩二 ストール</p> <p>1. アジャイル「SCRUM」の特徴とメリット (1) 常に化する海外情報に対するコンテンツの更新に対応 (2) クライアントの変化する要求にもすばやく対応 (3) クライアントサイドには技術的知識は必要なく、約 2 週間ごとにミーティングを実施 (4) クライアント担当者にはスキル取得の対応</p> <p>2. 「SCRUM」手法におけるクライアントの役割 (1) 事業計画の立案からマーケティング等のビジネス全般 (2) 打ち合わせの参加、仕様検討の最終決定 (3) 開発された成果の確認</p> <p>3. 開発運営会社の役割 (1) プログラミング～運用に関するエンジニアリング全般 (2) 打ち合わせにおける、仕様検討および設計 (3) 円滑なプロジェクト進行の支援 (質疑応答)</p>
14 : 30 } 15 : 30	<p>□ [関西学院大] Web サイトのグローバル化と実際 ～データ分析を基にした戦略的 Web 広報～</p> <p style="text-align: right;">関西学院 新谷 陽介</p> <p>1. 継続した Web サイトのデータ分析 (1) 迫り来るグローバル化と ICT 技術革新 (2) 全 PC サイトのスマートフォン対応 (3) データ分析と英文サイトリニューアル</p> <p>2. Web サイトのグローバル化促進としてのソーシャルメディア (1) YouTube (2) Linked in (3) Facebook</p> <p>3. Web サイトのグローバル化に向けた今後の展望 (1) スピーディーな情報発信に向けた多言語化 (2) 認知強化とストレスフリーなアクセス (3) 今後の課題 (質疑応答)</p>
15 : 40 } 16 : 40	<p>□ [NAIST] 大学ブランディングと広報戦略：「Start with “Why?”」 ～海外向けのウェブサイトと情報発信～</p> <p style="text-align: right;">奈良先端科学技術大学院大学 スティーブン 西田</p> <p>1. NAIST の情報発信：今までの活動 (1) 大学の歴史と特徴 (2) 今までの国内外における広報活動</p> <p>2. 大学ブランディングと広報戦略 (1) 大学ミッションと広報戦略の関係：「Start with “Why?”」 (2) 大学ブランディングの組織体制 (3) 大学スローガンの重要性：学内アンケート及びスローガンコンテスト (4) 各課・研究科の広報物：メッセージとデザインの一貫性</p> <p>3. オンラインプレゼンス (1) 英語版サイトの内容とデザイン (2) レイアウトとナビゲーションについて (3) ソーシャルメディアで情報発信 (4) その他の英語版広報物：オンラインプレゼンスの影響 (質疑応答)</p>